



「車いす空の旅・北海道」が実施されました

令和6年9月6日

私たち遊技業界は、障害の有無にかかわらず共に生活を送ることのできる社会づくりを目指しています。その一環として平成元年から支援している、神奈川新聞厚生文化事業団等が主催する「車いす空の旅・北海道」が実施されました。

今回の空の旅は9月5日から6日の1泊2日で、北海道旭川空港から美瑛地区や旭山動物園を巡るもので、障害児者9人に家族やボランティアを加えた37人が参加しました。



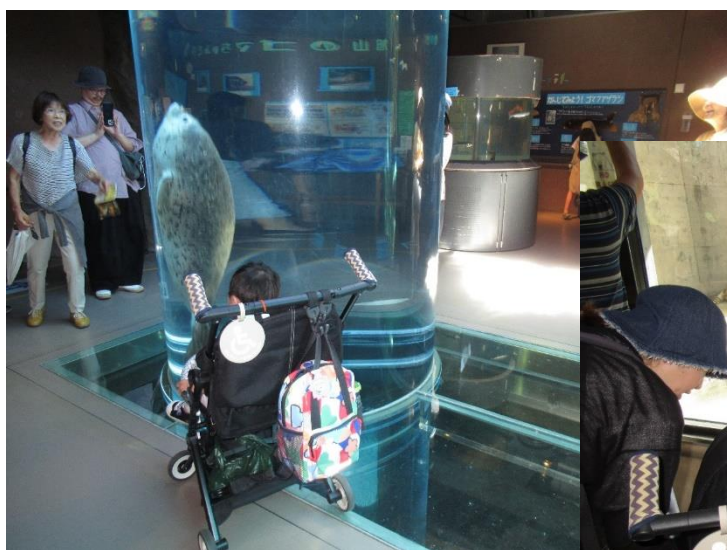
羽田空港での集合写真

羽田空港での出発に際しては、神奈川県遊技場協同組合伊坂重憲理事長（当協会会長）と神奈川県流通商福祉防犯協力会堀井浩之理事（同理事）がお見送りをしました。



羽田空港でのお見送りの様子

空の旅2日目は、国内でも有数の旭山動物園で、野生動物のイキイキとした動きを間近で観察しながら、動物たちと一緒に楽しい時間を過ごしました。



目の前にゴマアザラシが出現



トラはお昼寝中でした

6日夜、空の旅一行は2日間の日程を終え、無事に羽田空港に到着しました。



参加したご家族から感謝のお言葉をいただきました。

県内の障害児者とそのご家族に旅行を楽しんでもらうという趣旨に賛同し、支援を開始してから35年が経過しました。

今回も、県遊技場協同組合から1名がボランティアとして参加させていただきましたが、ボランティアを通じて人と出会い、そして社会貢献を実感することができました。

私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川県福祉事業協会は昭和60年2月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。